外注化阻止ニュース 第８０２号

〔発行日〕２０２６年１１月４日
〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://www.geocities.jp/dorosien28

ＪＲの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

久留里線「復旧断念」

JRによる廃線強行だ

廃線方針と業務外注化を撤回せよ！

10月23日、ＪＲ東日本は久留里線・久留里～上総亀山間の「復旧断念」を発表しました。

理由には、台風25号により大規模な盛土崩壊が発生したこと、復旧に半年程度を要すること、当該区間は国土交通省に廃止届を提出していることが挙げられています。

復旧長期化の責任はＪＲにある

ＪＲは要するに、「復旧に半年かかれば廃止時期になる」といい、事実上の廃止時期繰り上げを発表しました。確かに、「ＪＲになってから最大規模の被災」となった直接の原因は災害の激甚化です。

しかし、ここまで被害が拡大し、復旧に時間を要することとなった責任は、徹底的に外注化・要員削減を進めてきたＪＲにこそあります。

設備関係は２００１年に全面外注化され、保線区・管理所は大幅に削られ、千葉以東の線区では基本的にＪＲが一切関わらない状態にまで至っています。外注先には徹底したコスト削減が強制され、要員が削られ、現場の技術力、技術継承は投げ捨てられてきました。

その結果、喜勢社長自身が「ＪＲで採用し、人員が足りない子会社に出向で穴埋めを」「外注化は破たん」と言わざるを得ない現実が生み出されたのです。

業務外注化と廃線方針の撤回を

沿線住民からは「通勤・通学のためにも早急な復旧を」という声が上がっています。また、久留里～上総亀山間の廃線には沿線住民はもちろん、全国から「廃線反対」の声が上がり、１万筆以上の署名が寄せられています。

しかし、ＪＲはそうした声に対して、「廃止時期繰り上げ」で応えました。しかも、「自然現象によるやむを得ない廃止」かのように語っています。こんなことは許されません。

長期・広範囲に及ぶ運休は「人災」です。ＪＲは久留里線廃線、業務外注化をただちに撤回すべきです。

久留里線（久留里～上総亀山間）に関する緊急申し入れ（10月26日）

1 久留里線･久留里～上総亀山間について、「鉄道の復旧を断念」するとの判断を撤回し、直ちに復旧に向けた作業を開始すること。

2 今次の大雨や台風に伴い多くの箇所で線路の盛土が流出・崩壊していることから、業務外注化を直ちに中止すること。

3 久留里線・久留里～上総亀山間については、沿線住民から「鉄道の存続」を望む多くの声が上がり、１万筆以上の署名が寄せられていることなどから、同区間の廃線申請を直ちに撤回すること。